

新旧港湾業務艇のバトン渡し

「しまかぜ」退役

「しまかぜ」は、昭和62年3月に建造以来、平成28年7月までの29年4ヶ月の長きに渡り運航してきました。

この間、職員の監督業務の足として、また、測量船として、主に本港地区の防波堤改良事業、津田地区の木材埠頭整備事業、沖洲地区・沖洲(外)地区物流ターミナル整備事業、赤石地区岸壁整備事業等に従事してきました。また、中でも特筆すべき任務は、平成7年に発生した、阪神・淡路大震災の際、神戸まで救援物資輸送に尽力したことが挙げられます。

また年間数回開催されます、みなと見学会では市民の皆様には港の役割や徳島小松島港の魅力を堪能していただき、多くの皆様から愛されてきました。

「ひのみね」就航

当事務所3代目の港湾業務艇となる「ひのみね」は、平成28年7月に建造され、去る8月5日に就航式を執り行いました。本船の特徴は、海底地形探査装置を常時搭載している事で、海底地形の変化をいつでも調査できるようになったことです。これにより、災害時等でもいち早く復旧計画を立てるための情報を得ることができるようになりました。

今後は、命名理由となっている、小松島市のシンボルである「日峰山」のように、皆様から愛され続ける船となるように活用していきたいと思っております。



旧港湾業務艇「しまかぜ」

〔船舶仕様〕

- 総トン数:21GT
- 全 長:17.0m
- 全 幅:4.2m
- 喫 水:0.86m
- 最大航海速度:20.6ノット
- 最大搭載人員:22名



新港湾業務艇「ひのみね」

〔船舶仕様〕

- 総トン数:19GT
- 全 長:16.7m
- 全 幅:4.2m
- 喫 水:0.62m
- 最大航海速度:26.3ノット
- 最大搭載人員:20名